

<報道発表資料>

.....
カテゴリー:お知らせ

令和5年1月31日

サル痘患者の発生について

1月27日、県内在住の方でサル痘の疑いがある患者が報告されました。1月30日に県内の衛生研究所で検査した結果、サル痘の陽性が確定しました。

報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報のご保護にご配慮ください。また、医療機関への直接の取材やお問い合わせはお控えください。

【患者の概要】

年代：30代

性別：男性

居住地：埼玉県

症状：発疹、発熱、頭痛、筋肉痛、咽頭痛

海外渡航歴：なし

患者の状況：状態は安定しています。

【県民の皆さまへ】

- ・ サル痘は、サル痘ウイルス感染による感染症で、感染症法で4類感染症に位置付けられています。主にアフリカ中央部から西部にかけて発生が確認されましたが、2022年5月以降、海外渡航歴のないサル痘患者が欧米等を中心に世界各国で確認されています。
- ・ 潜伏期間は、7～14日（最大5～21日）とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0～5日程度続き、発熱1～3日後に発疹が出現、発症から2～4週間で治癒するとされています。
- ・ 主に、感染している人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触（性的接触を含む。）により感染します。また、患者と近くで対面し飛沫に長時間さらされた場合や、患者が使用した寝具等に触れた場合も感染する可能性があります。
- ・ 感染を疑う症状がある場合は、身近な医療機関に相談しましょう。
医療機関を受診する時は、公共交通機関を避け、自家用車など他の人との接

触をなるべく避けられる交通手段を用いるようにしてください。やむを得ず公共交通機関を利用する場合は、マスクを着用の上、衣服等で発疹のある場所を覆い、比較的空いている時間帯やスペースを選ぶなど、他の人との接触を避けるようにしてください。

- ・ サル痘の流行地ではげっ歯類などとの接触を避け、感染が疑われる人の飛沫・体液等を避けるとともに、手指衛生等の基本的な感染対策を心がけてください。